

日 時	平成19年8月7日(火) 午後7時00分～8時34分			
場 所	花園コミュニティセンター			
出席者 (市)	市長	市民政策部長	総務部次長	財務部長
	健康福祉部長	病院部長	環境部次長	産業部次長
	都市整備部次長	消防局長	水道局次長	教育部長
	文化部長			
	事務局 7人			
市 民	78名			
概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 資料等説明</li> <li>4 意見交換</li> </ol>			
意見交換 市民	<p>3P地域別まちづくりで都心地域工。「片原町駅・瓦町駅周辺地区の整備に努めます」と記載しているが、以下の点についてお聞きしたい。          琴電連続立体交差事業の現状と今後の見通しについては？          瓦町駅東地区の再開発については？</p>			
市長	<p>県・琴電側の事情により平成17年以降休止状態となっており、今後の方向性もまだ出てきていない。連立事業は公共空間を分断する原因となり、望ましくないのではとの意見もある。今後、高松のまちづくりを進めるには、連立事業をどう位置付けするのが重要となるので、市民の意見を聞きながら市としての方向性を早めに打ち出して、県に示していきたい。</p> <p>国のまちづくり三法は、これまでの開発主体(分散拡大)方針から集約整備(コンパクトシティ)と公共交通機関活用する方針へ見直しされている。そのような中で市民の意見を聞きつつ議論を進めて、方向性を出していきたい。また、駅東地区の再開発については、連立事業と一体的に検討する必要があるので、ご理解いただきたい。</p>			
市民	<p>自主防災組織連絡協議会の予算は年間24万円ほどで、うち市からの補助金は20万円である。この金額では地区自主防災訓練もできない。防災リーダー育成会に参加したが、それを住民に周知させるためにも地区自主防災訓練が必要だ。</p> <p>緊急時における米の備蓄や配給網を整備することが必要だ。新潟中越沖地震では、避難した住民一人当たり2個のおにぎりしか配給されなかったとのことだ。</p>			
市長	<p>現在、市の各部署から縦割りに出ている補助金について、それを一元化して交付金としてコミュニティ協議会に交付する制度への見直しをしている最中であり、このような過渡期においてはおっしゃるように補助額が少ないといったことも生じているのではないかと思う。本当に何が必要なのかについて市に伝えていただければ、対応も考えていきたい。</p> <p>災害時の食糧調達については、大規模店舗と協定を結んだりしている。より臨機応変に対応できるよう、重層的な対応策を今後考えていきたい。</p>			
関係部次長	<p>現在、コミュニティセンターにおいて非常時の食料備蓄を進めている状況である。備蓄しているのは、アルファ米(約18,000食分)、クラッカー、保存水である。</p>			

関係局長	<p>防災リーダー育成会に積極的に参加していただき、ありがたい。ここで得た知識を住民の方に伝えていただくようお願いしたい。また、窓口として防災対策室があるので、相談していただきたい。</p>
市民	<p>花園コミュニティセンターと総合福祉会館はどちらも築20年以上が経ち老朽化が目立ち、機材も古くなっている。また、駐車スペースも無く、不便をきたしている。花園小学校と栗林小学校の校区修正については昨秋に撤回されたが、今後はどのようになっていくのか。</p>
市長	<p>各地区でも様々な要望が出ている。コミュニティセンターの改修や耐震補強工事については順次行っているが、駐車場の設置は困難である。花園コミュニティセンターは総合福祉会館に隣接していることが大きなメリットであるので、それを活用していただきたい。</p>
関係部長	<p>校区修正の件については平成19年4月からの実施案が撤回されたのであり、校区修正全体が白紙になったわけではない。児童数の規模の適正化を図る必要があると思うが、今の段階で発表できる内容はない。今後の状況を注視していきつつ、検討していく必要があると思う。</p>
関係部長	<p>総合福祉会館は現在指定管理者制度を適用している。機材の状況を一度確認させていただきたい。</p>
市民	<p>地域別まちづくりが示されているが、各地区に対する予算の配分やどの程度事業費がかかるのかを教えてほしい。</p>
市長	<p>基本構想は方向性を示しているものであり、まちづくり戦略計画にて具体的な事業や内容が決まった上で財源的な額も判明してくる。予算については、各年度の財政状況に応じて決めていくことになり、事業を厳選して実施していきたい。</p>
市民	<p>まちづくりの事業活動を行う組織に対して、市からの支援をお願いしたい。</p>
市長	<p>地方自治にかかわる基本原則のひとつに「補完性の原則」というものがあるが、地域コミュニティがやるべきものについても、市がしっかり支援していくことも大事だと思う。私は、コミュニティを軸とした協働のまちづくりを重点に置いている。市からの財政的な支援については、今までの縦割りに出ている補助金から、それを一元化して交付金としてコミュニティ協議会に交付する制度への見直しをしている過渡期である。</p>
市民	<p>琴電連続立体交差事業に対する市の方針を早く決めてほしい。 小学校の統合に伴う小学校跡地について、福祉施設を建設してはどうか。 歴史ある高松第一高校の全面改築等についてどのように考えているのか。</p>
市長	<p>今後、高松のまちづくりを進めるには、琴電連続立体交差事業をどう位置付けるのが重要となるので、市民の意見を聞きながら市としての方向性を早めに打ち出して、県に示していきたい。 新設統合第一小・中学校の施設建設については、建設会社の談合などの影響で遅れており、今後どうしていくかについて地元とも協議をしている。跡地利用については、公共目的で活用することについてさまざまな意見が出ている。</p>
関係部長	<p>跡地利用についてはいろいろな意見が出ており、まずは既存施設をどう有効活用するのかを考えていくこととしている。 まずは耐震化を進める中で、中期的には、老朽化しているため、「施設」と「教育内容」の両面から将来の一高のあり方を検討していくこととしている。</p>

市民	<p>市長への提言はどのようになっているのか。</p> <p>地域で春日川河川敷のごみ清掃をしているが、上流からごみが流れてくる。恐らく川沿いのごみステーションから落下している様なので、それを改修してほしい。</p> <p>自転車の違法駐車が多いので、駐輪場をもっと整備してほしい。</p> <p>室町新田線沿いの歩道に雑草が多い。地域でも除草しているが、市も率先して除草してほしい。</p>
市長	<p>これまでどおり、紙媒体や電子メール等で受け付けている。市民から送られてきた提言やそれに対する回答には、私がすべて目を通してしている。</p> <p>まちづくりのキーワードとして自転車を位置付けている。いかに活用するかについては、県警・国・県・市等で立ち上げている自転車に関する協議会に参加しており、ハード（自転車道）・ソフト（マナーアップ）の両面から総合的に考えて、取り組んでいく。また、栗林駅周辺に新たに駐輪場を整備し、駐輪禁止区域も設定した。</p> <p>地域として除草していただき、ありがたい。市ではマイロード事業といって清掃用具を配給している事業があるので、それも活用していただきたい。</p>
関係部次長	<p>春日川の清掃をしていただき、ありがたい。ごみステーションの設置場所によってはごみが落下する場合もあるかもしれないので、ごみステーションの改修については市としても支援していきたい。</p>